

子どもたちを見守る

春の交通安全運動

4月6日から15日までの10日間、新入学児童を始めとした歩行者の安全確保を重点目標とした『春の交通安全運動』が実施されました。新年度を迎え、小学生の交通事故が増加する時期であることから、本町においても交通安全指導員や、地域の方が登校する子どもたちの見守りを実施しました。

4月7日、上ノ国小学校前では保護者に付き添われながら登校する新1年生の児童たちが、安全を見守る地域の方に元氣よく、大きな声で挨拶していました。



コロナに負けない

手作り鯉のぼり

汐吹漁港では「コロナに負けない」との思いがこもった手作り鯉のぼりが元氣に泳いでいました。

汐吹町内会では毎年この時期に鯉のぼりを汐吹漁港に飾っており、この鯉のぼりはコロナ禍で自粛生活が続く中、なにかできることをしようと、町内会の女性を中心となり、古い着物などを再利用して制作したもので、鯉のぼりの他、パッチワークで色鮮やかな「北海道」なども制作していました。

新型コロナウイルスの流行から約1年半がたちますが、コロナに負けず、今後も油断せずに感染症対策を徹底していきましょう。



第二生命函館支社と

見守り協定を締結

3月26日、町と第一生命函館支社は、高齢者などの地域見守り活動に関する協定の締結式を行いました。

協定では、第一生命函館支社の業務中に支援や保護を求められた場合や、訪問先などで異常を発見した際の情報提供など、町と同社が連携し対応に当たるというもので、同社の村田副支社長は「地域に少しでもお役に立てられるようにしたい」と話されていました。

今後は、協定に基づき、町民の健康的な生活活動実現に向け、見守り活動などについて協力・連携していくこととしています。



放課後児童クラブ

送迎バスの運行開始

放課後児童クラブでは4月から送迎バスの運行を開始し、河北小学校と滝沢小学校の児童も利用しやすくなりました。また、対象となる学年も6年生まで拡充されたほか、事前に住民課への申請が必要となりますが、保護者の傷病、不定期な就労など、緊急かつ一時的な理由による「一時預かり」も開始されています。

4月14日、この日は河北小学校の児童12名が町の運行する送迎バスを利用し、児童たちは元氣よく挨拶し、送迎バスに乗り込んでいました。

